

令和3年10月31日執行  
衆議院小選挙区選出議員選挙

# 選挙公報

滋賀県第4区  
滋賀県選挙管理委員会

愛する郷土である東近江市、甲賀市、近江八幡市、  
湖南市、日野町、竜王町を日本一の郷土にするため  
私・小寺ひろおは身を粉にして働きます。  
内閣府大臣政務官 小寺ひろお



- 1 万全な感染症対策で新型コロナに打ち克ちます**  
希望者すべてにワクチン接種を行い、安心な日常を取り戻します。また国産ワクチンや新薬開発を支援し、感染症に対応した保健所や行政の仕組みの再構築も行います。
- 2 地域経済を守ります**  
新型コロナの影響を受けた事業者を支援し、雇用と暮らしを守ります。また GoTo 事業で地域経済の回復を図り、さらに中小事業者の資金繰りを支援し、前向きに取り組む皆さまを応援します。
- 3 農林業が主役の地域づくりを実現します**  
農業を守ることは地域を守ることです。各地域に応じた農業経営を実現し、また農業基盤の整備を推進します。さらに県産材を活用した学校など、木造建築物が建てられる仕組みを作り、滋賀県の森林を再生します。
- 4 地方創生の実現に取り組みます**  
地域の歴史的・文化的・地理的な資源に光を当てて活用することが地方創生の理念です。各地域の創意工夫した取組みを支援します。アフターコロナの観光は地方が主役です。地域の観光施策を力強く支援します。
- 5 子育て・医療・介護・福祉を充実させます**  
少子化対策に真正面から取り組み、待機児童ゼロを実現します。また、子ども政策を一元化するために「子ども庁」を創設します。さらに高齢社会に対応した地域医療体制を確立し、介護・福祉政策を充実させます。
- 6 安心・安全な地域づくりを進めます**  
地域活性化の柱となる国道1号、8号や名神名阪連絡道路など、道路整備を進めます。また激甚化する水害に対応するために大戸川ダム建設や日野川などの河川整備を進め、災害に強い地域づくりを実現します。

小寺ひろおの  
想い……



自由民主党公認  
**小寺ひろお**  
61歳

## みんな頑張ってる。次は政治だ。

2年近いコロナ禍で、度重なる自粛要請や行動制限に応じ、みんなが頑張っています。十分に頑張っています。しかし、今、私たちの足下には、ひどく傷つき、痛んだ暮らし、経済があります。次こそ、政治が頑張る番です。コロナで痛み、傷ついた暮らしを立て直し、経済を再建し、日常を取り戻していくために、全力で政治が頑張らなければなりません。



**頑張る農家を応援**

- 自民党政権が廃止した「農業者戸別所得補償制度」を復活・拡充し、頑張る農家を応援する仕組みをつくる

**平和を守るための現実的外交**

- 専守防衛に徹しつつ、領土・領海・領空を守る体制を整備
- 尖閣諸島を視野に、領域警備と海上保安庁体制強化の法整備を進める
- 唯一の戦争被爆国の責務として、核兵器禁止条約締結国会合へのオブザーバー参加を目指す

**とくなが久志プロフィール**

- 1963年生まれ、近江八幡で育つ
- 1976年 近江八幡市立金田小学校卒業
- 1979年 近江兄弟社中学校卒業
- 1982年 滋賀県立彦根東高校卒業
- 1987年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
- 1995年 (財)松下政経塾卒業
- 1999年 滋賀県議会議員(2期当選)
- 2007年 参議院議員選挙 当選
- 2010年 外務大臣政務官 就任
- 2014年、2017年 衆議院議員選挙 落選

ホームページ LINE

**暮らしを強く支え、経済を立て直す**

- (時限的に)消費税を5%に引下げる
- 年収1千万円未満の所得税を実質免除と低所得者への給付金支給
- 持続化給付金の復活(事業規模に応じた加算を行うなどの改良を行う)
- 「同一価値労働同一賃金」の法制化
- 最低賃金を全国一律1,500円を目標に段階的に引上げる
- 派遣法などを見直し、希望すれば正社員として働けるよう法整備を行う

**子どもの育ちと学びを社会が支える**

- 児童手当を高校卒業まで全員に支給
- 小中学校の給食を無償化
- 高校の授業料無償化の所得制限を撤廃

元参議院議員 元外務大臣政務官

**とくなが久志** ひさし  
立憲民主党 連合滋賀推薦

ホームページ とくなが久志 <https://e-siga.com>

## 投票日は10月31日(日)です。

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、  
10月20日(水) から 10月30日(土) までです。  
(公示日の翌日) (選挙期日の前日)

(投票方法) ○小選挙区選出議員選挙では候補者名を  
○比例代表選出議員選挙では政党名を  
それぞれの投票用紙に書いて投票してください。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。